

身近な人をなくしたこどものつどい

親やきょうだいなど身近な人を亡くすと、悲しみだけではなく、恋しさ、自責の念や怒りなど、様々な感情がおこります。グリーフと呼ばれるこの反応は、誰にでもおこるものですが、こども達も普段の生活の中ではあまり話す機会がなく、一人で抱えがちです。

プログラムではファシリテーターと呼ばれるスタッフがこども達のサポートをしながら、こども達は自由に時間をすごします。話してもいいし、話さなくてもいい。遊んでもいいし、何もせずゆっくりしてもいい。こども達が自分の感情に丁寧にふれながら、安心安全に過ごせる分かち合いの場を目的としたプログラムです。

対象 身近な人をなくしたこども（小学生～中学生）

※幼児は応相談

※別室で保護者のプログラムも行います（自由参加）。

定員 5名程度

日時 2024年12月8日（日）

13時 受付開始、13:15開始 16:20終了

場所 広島大学病院 広仁会館（地図は裏面）

参加費 無料



ワンデイプログラムってどんなことをするの？

はじめりのわ：わになってみんなで自己紹介

あそびのじかん：自由にすごします

おやつのじかん：おかしやジュースがあるよ

おはなしのじかん：お話ししたり、自由にすごしたり

おわりのわ：わになってみんなで感想をはなします

はなしたくない
ことはパスもOK

主催・お問い合わせ グリーフサポートひろしま

griefhiroshima@gmail.com

共催 広島大学病院（小児がん拠点病院事業）

協力 一般財団法人あしなが育英会

【申し込みフォーム】



会場地図

(構内に駐車場あり)



「グリーフサポートひろしま」について

広島県内全域を対象に、グリーフを抱えたこどもたちに適切なグリーフサポートを提供できる体制づくりと実践を目的とした「グリーフサポートひろしま」を設立するため、2023年8月に医療福祉関係者を中心に、有志で準備委員会を立ち上げました。こどものグリーフプログラムを行う人材育成を目的としたファシリテーター養成講座の開催などを経て、2024年9月に「グリーフサポートひろしま」を設立しました。

当団体では①市民を対象としたグリーフに関する講演会、②グリーフを抱えたこどもとそのご家族を対象としたグリーフプログラム、③プログラムでこどもと遊んだり話を聞いたりするファシリテーターの養成講座、の3つを中心に活動を行っていく予定です。

グリーフを抱えたこども達にとって、思いを分かちあえる仲間がいたり、こどもらしく遊べる機会があったり、グリーフについて話したくなった時に話せる相手がいったり、グリーフプログラムはそんな安心安全な場にしたいと思っています。またこども達にとって、こどもと関わる様々な仲間や大人がこどものロールモデルにもなります。これからも活動を通じて多くの方にこどものグリーフやそのサポートについて知っていただき、グリーフサポートの輪が広島で広がっていくことを願っています。



グリーフサポートひろしま
代表 土方 希 (小児科医)

